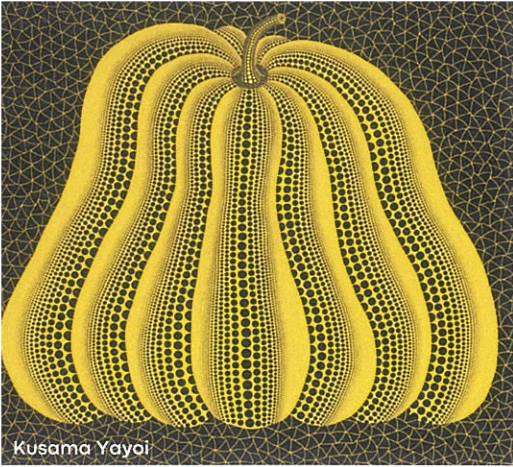




Kusama Yayoi
草間彌生 南瓜 (GPLA) (部分)
2011 アクリル、カンヴァス 130.3×162cm 作家蔵
YAYOI KUSAMA



Aida Makoto
会田誠 灰色の山 (部分)
2009-2011 カンヴァスに油彩 300×700cm
タグチアートコレクション/タグチ現代芸術基金 撮影:宮島隆
©AIDA Makoto, Courtesy of Mizuma Art Gallery



teamLab
teamLab 世界は、統合されつつ、分割もされ、繰り返しつつ、いつも違う (部分)
2013 インクグラフィック・デジタルワーク、エンドレス、8チャンネル、音楽:高橋英明
高橋龍太郎コレクション
©teamLab

平成という時代は「衰われた30年」と否定的に語られる一方で、ファッションや建築、アニメやマンガ、そして現代アートの分野において素晴らしい作家たちが活躍し、世界的な評価を得た時代でもあります。

本展は平成に生まれた日本の現代アートをクロニクル的に捉えた展覧会であり、2011～2012年に国内で開催された「ジパング」展を再編、更に発展させたものです。「日本の」現代アートがもつ魅力をく再発見>してほしいというねらいとともに、東日本大震災直後の日本が現代アートの力によって癒され、あるいは活力を得てほしいと企図されたものでした。

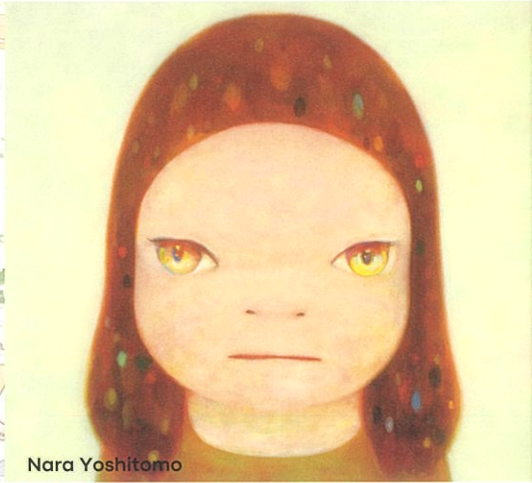
今回のジパング展では、平成を代表する作家、そして現在も優れた活躍を見せる作家たちの作品を一堂に御紹介します。世界の現代アートの文脈を視野に捉えながら、日本の文化と結合・変容させ、独自の表現を獲得した彼らの作品は、いずれも時代の複雑さや多様性を反映しています。それぞれのアートを通じて「平成」という時代を振り返るとともに、今このときも生まれ続ける現代アートをお楽しみください。



Usami Masahiro
宇佐美雅浩 大塚健 秋葉原 (東京) 2013 (部分)
2013 タイプCプリント 120×152cm 作家蔵
©USAMI Masahiro, Courtesy of Mizuma Art Gallery



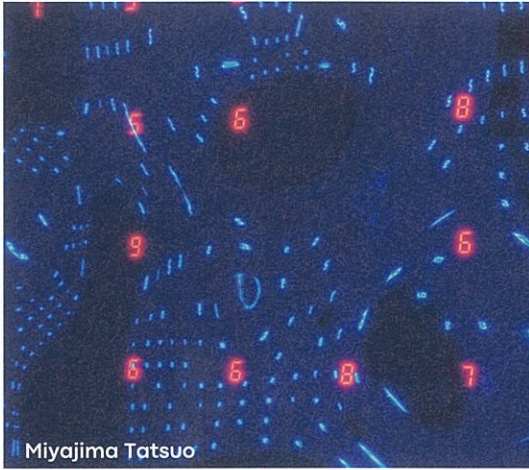
Yamaguchi Akira
山口晃 馬からヤヲ射る (部分)
2019 紙に墨、水彩 103×72.8cm 作家蔵
©YAMAGUCHI Akira Courtesy of Mizuma Art Gallery



Nara Yoshitomo
奈良美智 Through the Break in the Rain (部分)
2020 アクリル、カンヴァス 220×195cm 豊田市美術館蔵
©Yoshitomo Nara Courtesy of Yoshitomo Nara Foundation



O JUN
O JUN 不動の児 (部分)
2005 紙、岩絵具、顔料、ガラス、鉄 171×119×5cm 中尾浩治氏蔵
撮影:木奥恵三
©O JUN, Courtesy of Mizuma Art Gallery



Miyajima Tatsuo
宮島達男 Warp Time With Warps Self No.2 (部分)
2010 LED、IC、電線、鏡、スチール 105×150×15.5cm
タグチアートコレクション/タグチ現代芸術基金 撮影:長 信臣
©Tatsuo Miyajima Courtesy of the artist and SCAI THE BATHHOUSE



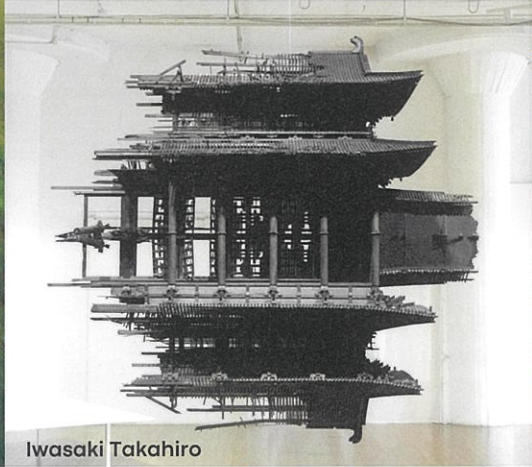
Komatsu Miwa
小松美羽 精霊たちの時間 (部分)
2024 アクリル、カンヴァス 259×259cm 株式会社風土蔵
©Miwa Komatsu



Shiota Chiharu
塩田千春 State of Being (Dress) (部分)
2013 メタルフレーム、黒糸、ドレス 150×100×80cm
タグチアートコレクション/タグチ現代芸術基金
©VG BILD-KUNST, Bonn & JASPAR, Tokyo, 2024 G3427



Ishida Tetsuya
石田徹也 Untitled (部分)
2003 カンヴァスにアクリル、油彩 27.3×27.3cm Wada Fine Arts 蔵
©Wada Fine Arts



Iwasaki Takahiro
岩崎貴宏 リフレクション・モデル【羅生門エフェクト】
2015 樟、シナベニヤ、墨汁、ワイヤー 180×185×90cm ジットグループ株式会社蔵
撮影:木奥恵三
©Takahiro Iwasaki Courtesy of ANOMALY

関連イベント

1 山口晃 アーティストトーク
[日時] 9月22日(日・祝) 13:30～15:00
[会場] 美術館ホール
[参加費] 無料
[定員・予約] 定員約400名、事前予約不要
[講師] 山口晃(本展出品作家)

2 スペシャルトーク
[日時] 8月25日(日) 13:30～(約1時間)
[会場] 美術館2階 画廊、展覧会会場
[参加費] 無料(※但し、ギャラリートークは参加日に有効の展覧会観覧チケットが必要)
[定員・予約] 定員約50名、事前予約不要
[講師] 名もなき実昌(本展出品作家)、三瀬末雄(ミヅマアートギャラリーエグゼクティブディレクター)

3 博物館・美術館セミナー「現代アートあれこれ」
[日時] 10月12日(土) 13:30～15:00
[会場] 美術館2階 画廊
[参加費] 無料
[定員・予約] 定員約30名、事前予約不要
[講師] 岩永亜季(当館学芸員)

4 ギャラリートーク
[日時] 8月31日、9月14日、9月28日、10月19日(いずれも土曜日) 13:30～(約30分間)
[会場] 展覧会会場
[参加費] 無料(※但し、参加日に有効の展覧会観覧チケットが必要)
[案内] 当館学芸員

5 SAGA GAYA MUSEUM (静かにしないでよい鑑賞時間)
[日時] 9月6日(金) 18:00～20:00
9月7日(土) 9:00～12:00
9月8日(日) 14:00～18:00
[会場] 展覧会会場
[参加費] 無料(※但し、参加日に有効の展覧会観覧チケットが必要)
[定員・予約] 定員なし・事前予約不要
[内容] 話したり、笑ったり、思わず声をあげたりしながら、自由な雰囲気の中で展覧会を鑑賞していただける時間です。

文化講演会

〈佐賀県アーツコミッション 令和6年度 第1回 文化講演会〉
「アートにとって価値とは何かⅡ」～「令和」のアートムーヴの展望について～
[日時] 8月24日(土) 13:30～15:30
[会場] 佐賀県立美術館ホール
[参加費] 無料
[定員・予約] 定員約400名、事前予約不要
[内容] 基調講演:三瀬末雄(ミヅマアートギャラリーエグゼクティブ・ディレクター)
対談:三瀬末雄 × O JUN(画家・東京藝術大学名誉教授)
司会:花田伸一(佐賀大学芸術地域デザイン学部准教授)
[主催・連絡先] ライブズビヨンド事務局 メール:info@livesbeyond.jp
佐賀県アーツコミッション担当 電話:0952-25-7236 (※平日8:30～17:15)

Ikedo Manabu
池田学 誕生 (部分)
2013-2016 紙にペン、インク、透明水彩 300×400cm 佐賀県立美術館蔵 デジタルアーカイブ: 凸版印刷株式会社
©IKEDA Manabu, Courtesy of Mizuma Art Gallery, Tokyo / Singapore

